

株式会社地球科学総合研究所

2026年度 品質方針

《 キャッチフレーズ 》

エネルギー・環境問題へのソリューション…地球と共に、社会と共に人類の未来に向かって。

《 基本理念 》

株式会社地球科学総合研究所は、豊かな経験と優れた地球科学総合力に基づく探査技術サービスの提供を通じ、豊かで安全な未来の社会の構築に貢献する。

《 基本方針 》

私は、品質マネジメントシステムの構築と活用にあたり、次の事項を基本方針として定める。

1. 法令・規制要求事項を満たし、要求事項ならびに自社規定に適合することを約束する。
2. 探査技術の継続的なレベルアップを図り、常に業界のトップを目指す。
3. 顧客ニーズに適合し、顧客の利益につながるサービスを心がけ、積極的な提案を実現する。
4. この品質方針を品質目標と品質目標達成計画に基づいて具現化するため、計画に基づいた行動による継続的な業務の改善を指示する。また、これに必要な経営資源の提供を約束する。
5. 常に、社会環境の変化に対応し、顧客満足の上昇を図るため、品質マネジメントシステムの見直しを継続的に行う。

《 2026年度方針 》

- 世界的な安定的な資源サプライチェーンの再評価を鑑み、エネルギー資源開発分野での安定的な収益確保を図る。
- 地下構造可視化・モニタリングに関わる総合的な技術力を背景として、CCS-CCUS分野を主体とするカーボンニュートラル関連事業の推進・拡大に取り組む。
- 地震火山防災、海洋調査関連事業の分野での既存事業分野の継続・発展を進め安定的な収益源への移行を図る。
- 保有する技術、ノウハウ、機器の有効活用また新規技術開発による社会ニーズにマッチする事業創出を進め、事業多角化による堅牢な収益基盤の確立を目指す。
- 顧客のニーズに適合する世界標準の技術導入を図り、総合的な競争力を強化する。
- 組織・人員・機材の最適化を計画的に進め、外部連携を含めた柔軟な受託体制を構築する。
- 数値的指標を用いながら、業務の迅速化・効率化と共に徹底した品質向上に努める。

2026年4月

株式会社地球科学総合研究所

代表取締役社長 東中基倫